

第44回企業短観調査 (2022年9月) 実績分

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	5 (12.8%)
建設業	260	22 (8.5%)
小売業	458	23 (5.0%)
サービス業	427	30 (7.0%)
製造業	124	12 (9.7%)
全業種	1,308	92 (7.0%)

考察

売上実績については、「増加」と回答した企業が微増しているが、見通しについては、「増加」と回答した企業の割合が減少に転じており、依然厳しい状況が続いていることから不安感が伺える。売上及び収益の実績値が「減少」と回答した企業では、特に小売業の割合が多い。資金繰りについても、実績が「楽」と回答した企業が微増しているが、見通しについては、「楽」と回答した企業の割合が減少に転じており、今後も仕入れ価格高騰が続くことが予想され、資金繰りに不安を感じているものと思われる。人手については、建設業や製造業で「不足」と回答した企業の割合が依然多い状況であるが、その他の業種では、「適正」と回答した企業の割合が多い。

県民割などの消費喚起策により、サービス業を中心に売上等に回復の兆しが見られる。しかしながら、コロナによる感染拡大の影響よりも仕入価格、燃料価格の高騰が経営を圧迫していると回答している事業者が増加している。

